

財務会計基礎研修

— すべての職員のための会計・出納事務の基礎固め —



会計・出納事務執行能力の向上。



根拠法令と事例を中心とした講義を通して、出納事務担当者としての心構えや出納事務に関する制度・手続きを学び、より適正な出納事務を行うために必要となる基礎知識の修得を図る。

また、実務遂行上のポイントや留意点などについての理解を深めるため、問題事例等に関する演習も実施する。



講師
おおさき えいじ
大崎 映二 氏

一般社団法人日本経営協会 専任講師
元東久留米市（東京都）職員
行政アドバイザー

【著書】
「50のポイントでわかる自治体職員はじめての公金の管理と運用」
「55のポイントでわかる自治体職員新はじめての出納事務」
【自治体の外部委員】
栃木県佐野市事務事業評価外部評価委員会副委員長・同市有施設適正配置推進会議委員、東京都豊島区政策評価委員会委員

会場

松江会場 定員30名

日時 9月1日(月) 9:15～16:30
9月2日(火) 9:30～16:15
場所 島根県市町村振興センター

大田会場 定員30名

日時 9月4日(木) 9:15～16:30
9月5日(金) 9:30～16:15
場所 あすてらす

プログラム

1
日目

午前

・自治体の予算と決算

午後

・収入事務と債権管理のポイント

2
日目

午前

・支出事務と関係法令のポイント

午後

・契約事務と関係法令のポイント
・演習：事例研究

対象

- 全ての所属
- 新採～若手職員(特に出納事務・会計事務の担当職員。主として担当年数3年未満)

こんな方におすすめ!

- ◎ 出納事務に関する知識の習得を図りたい
- ◎ 公務員としての資質の向上を図りたい
- ◎ 担当経験は3年以上だが、改めて基礎から学び直したい

受講者の声

*入庁してから今に至るまでの自分の仕事を確認し反省することができ、今後の業務における考え方や進め方を考え直すことができた。具体例を交えて「何がまずいか」「どうするのがよいか」を学ぶことができ、正直もっと早くに学習すべきだったと思うし、もっと多くの人を知っておかなければならないことだと痛感した。

*定期的に受講したい内容でした。

*新採よりも実務を経験し、自分たちのやり方が染みついている職員ほど、この研修を受けるべきと感じた。